

I 公募要領

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
1	公募要領	P.2 6	令和4年8月31日交付予定資料の平面図、立面図、断面図及び更新版資料（ブロックプラン、配置図）のCADデータの配布は可能でしょうか。ご指示下さい。	提案にあたり、各参加者で図面作成をお願いします。なお、施工予定者となった場合は、条件付きで提供することを予定しています。
2	公募要領	P.2 6	公告以降の交付資料について①～③と記載がありますが、要求水準書において地盤調査結果の提供として③常時微動測定結果 10月30日頃とありますので交付されると考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
	要求水準書	P.11 第2章 第2節 2		
3	公募要領	P.8 17	技術提案書提出書類について①を1部、②及び③を16部とありますが、④の記載がありません。②、③、④も合わせて16部と考えるとよろしいでしょうか。またCD-R等は1部提出と考えるとよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
4	公募要項	P.10 19	公募要項19プレゼンテーション・ヒアリングについて、当日の会場広さ、OA設備、スクリーン、プロジェクター等仕様可能機器などをご教示下さい。	会場は、13.5m×10m程度の大きさの会議室となります。設備は大型モニター（65inch、HDMI接続）を用意します。使用するパソコンは参加者が用意してください。事前に会場の確認を希望する場合は、事務局に連絡ください。
5	公募要領	P.10 19	公募要項19プレゼンテーション・ヒアリングについて想定されるプレゼン時間およびヒアリング（質疑応答）時間をそれぞれご教示下さい。 またプレゼンテーション時には、提案書の内容に沿ったプレゼン資料（提案書より抜粋したもの）を別途作成し、配布可能でしょうか。その際、資料は当日持ち込み、配布できると考えるとよろしいでしょうか。ご指示下さい。	プレゼンテーション30分、ヒアリング40分を想定しています。 当日のプレゼン資料の作成は問題ありませんが、配布はできません。提出された技術提案書から逸脱した内容は不可です。
6	公募要領	P.11 21 (3) 別表2 D)	市内業者活用の提案について、具体的な経済効果の記載については、工事の建設業者及び建設資材などの企業の累積の金額（税込）と考えるとよろしいでしょうか。また市内貢献額の範囲まで参入できると記載がありますが、工事及び資材のそれぞれで判定されると考えるとよろしいでしょうか。ご指示下さい。下記に例を示します。 例 ①工事（市内本店・県内本店） 市内12億円×1.0＝12億円 県内50億円×0.3＝15億円＞12億円＝12億円 工事経済効果 12億円+12億円＝24億円 ②資材（市内本店・県内本店、支店、営業所） 市内12億円×1.0＝12億円 県内50億円×0.3＝15億円＞12億円＝12億円 工事経済効果 12億円+12億円＝24億円 ①＋②＝24億円＋24億円＝48億円の経済効果と記載	お見込みのとおりです。 ただし、工事と建築資材・材料の重複カウントは、認めていませんので提案にあたり留意をお願いします。 例として、市内事業者等へ発注する①の工事契約が24億円で内訳が工事12億円＋建築資材・材料12億円となっている場合、②にそのうちの建築資材・材料12億円を再計上することはできません。
7	公募要領	別表2 C) ③	省力化によるPC工法採用は該当すると考えて良いでしょうか。 例) 1階床ハーフPC、バルコニーPC、保育所のプレファブ化など またシャワーユニット、ユニットバスは、一般的な仕様と考えるのでしょうか。ご指示下さい。	施工品質を確保する提案であれば、該当します。 シャワーユニット、ユニットバスは、通常、病院で多く使用されているような仕様を想定しています。

A 要求水準書関係

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
8	A 要求水準書	P.6 第1章 第2節 1 (4) カ	建築設計業務において (4) カにおいてZEB補助金取得支援業務 (SERAの補助金) とありますが、SERA以外への補助金申請としてもよろしいでしょうか。ご指示下さい。	発注者が問題ないと認めた場合、SERA以外への補助金申請を可とします。
9	A 要求水準書	P.6 第1章 第2節 1 (4) ケ	建築設計業務において (4) ケにおいて、土壤汚染対策法の手続きに係る業務とありますが、建設工事においての一定の規模以上の土地の形質変更届出でしょうか。またその際に地歴1次調査は、造成工事個別法一覧表に記載がありますとおり、令和4年10月に別途造成工事分の届出に含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
10	A 要求水準書	P.6 第1章 第2節 1 (4) ケ	ケ 土壤汚染対策法の手続きに係る業務とあります。一方で「建築設計業務委託特記仕様書 (P7 6行目) 「土壤汚染対策法に基づく土地の形質の変更の届出の作成及び手続き業務」は不要となっています。土壤汚染対策法に関する具体的な内容をご教示下さい。	土壤汚染対策法に基づく土地の形質の変更の届出は発注者にて行います。「土壤汚染対策法に基づく土地の形質の変更の届出の作成及び手続き業務」とは、土対法第4条申請届出後、岐阜県より建築設計に関わる書類等の追加提出依頼や土壤汚染状況調査を実施するよう命令が発出された場合の対応を想定しています。
	B 設計業務委託 特記仕様書	P.7 二 4 (3)		
11	A 要求水準書	P.6 第1章 第2節 1 (4)	許認可申請業務について、確認申請、構造適判、省エネ適判等の申請手数料は別途との認識で宜しいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
12	A 要求水準書	P.7 第1章 第2節 1 (6) ク	建築設計業務において (6) クにおいて、電波障害調査業務 (机上検討及び現地調査) とありますが、建物および工事の影響による電波障害対策費は別途と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	電波障害対策費は、工事起因によるものは受注者負担とし、建物起因によるものは発注者負担とします。
13	A 要求水準書	P.7 第1章 第2節 1 (6) ケ	建築設計業務において (6) ケにおいて、仮設計画、配管納まりのBIM利用による検討業務とありますが、仮設計画のBIM利用は不要との理解で宜しいでしょうか。また必要でしたら、その際の業務内容としては令和4年11月14日提出する仮設計画図と同等程度と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	要求水準書に記載のとおり、仮設計画も含めてください。BIM利用による仮設計画は、設計進捗に合わせて深度化を図って行くことを想定しています。
14	A 要求水準書	P.7 第1章 第2節 3 (4) P.51 第4章 第1節 11 (1)	第1章第2節 3 建設工事において (4) 基本設計積算業務と記載がありますが、1 建築設計業務 (3) 積算業務の中の要求水準書第4章第1節11の建築基本設計業務におけるコスト管理においての基本設計完了時見積と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
15	A 要求水準書	P.11 第2章 第1節 3	都市計画法上の制限事項において、防火水槽等の設置とありますが、開発行為に伴うものとありますが造成図には見当たりません。建設工事にて見込むものとして考えてよろしいでしょうか。またその際、配布された配置図にも見当たりませんでしたので図示にてご教示をお願いします。	お見込みのとおりです。 参考図として土岐市消防本部と協議時の図面を追加します。
16	A 要求水準書	P.11 第2章 第1節 3	「建築物をすべて包含(半径140m)するものとし、消火栓×2か所、40㎡の防火水槽×1基を設置」とありますが消防用水としては100m包含となるかと考えますがいかがでしょうか。ご指示下さい。	半径140m包含とは、開発許可申請において必要な都市計画法第32条の公共施設管理者 (土岐市消防本部) との協議により消防水利として決定した範囲です。総務省消防庁告示の消防水利の基準第四条第1項第2号に基づき140mとしています。 消防用水としては、建築設計において、別途土岐市消防本部と協議が必要になります。

A 要求水準書関係

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答	
17	A	要求水準書	P.11 第2章 第2節 1	計画地の状況において、現況図を示されておりますが、隣地（民有地）や市有地、道路との敷地境界確定は別途確定していると考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
18	A	要求水準書	P.12 第2章 第2節 5 (2)	<p>工事中の仮設上水道について、敷地北東側本管よりφ25を分岐して敷地内に引き込むと記載されていますが、基礎杭の打設時には給水の供給能力が不足するものと思われます。工事に支障がないように土岐市上下水道課と協議の上、引き込み管をサイズアップしてよろしいでしょうか。</p> <p>また、敷地内においては、メンテナンス性を考慮して埋設を止め露出転がし配管としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>仮設上水道は敷地造成における地盤改良に必要な水の確保を想定しφ25としております。</p> <p>上下水道課と協議の上変更可能ですが、当該地域は末端部であり、多量の給水は一般家庭への影響を与える可能性があるため、基本的にはノッチタンク等を現場に設置して水道を使用して頂くようお願いいたします。</p> <p>また、仮設上水道管は車両の通行のある部分は埋設し、敷地内は露出転がししていただいて構いません。</p>
	F	仮設給水平面図			
19	A	要求水準書	P.17 第3章 第3節 3 (2) ケ	電気自動車対応の充電設備を3台分程度設置とありますが、電気容量は6kw×3台と考えてよろしいでしょうか。また課金は必要でしょうか。設置想定場所もご教示ください。	6kw×3台を想定してください。課金は不要です。設置場所は、今後検討し決定します。
20	A	要求水準書	P.17 第3章 第3節 3 (2) ソ	施設用地外周部には囲障（アルミフェンスH=2m程度）を設けること、とありますが、アルミフェンスに限らずと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
21	A	要求水準書	P.17 第3章 第3節 3 (4) イ	計画敷地内は開発許可基準により雨水排水施設が配置計画されており、調整池への放流経路や排水施設の規模を計画している、とあります。配置計画した際の雨量、排水の計画書、計算書はいただけるのでしょうか。ご指示下さい。	配置計画した際の雨量、排水の計画書、計算書を提供します。
22	A	要求水準書	P.19 第3章 第3節 4 (7) ア	病室モデルルームの作成は、4床室・1床室の2部屋とし、室内および前廊下部分程度と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
23	A	要求水準書	P.25 第3章 第3節 4 (15)	省エネターゲット（イ）においてSERAの補助金が採択された場合は、年度毎の交付決定後に補助対象部分の着手、年度毎の補助対象部分の工事完了をさせる必要があるため、工事工程に留意することと記載がありますが、補助金取得のために建物の引渡し時期に影響がある場合は、建物の引渡し時期を優先させることと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。 竣工、引き渡しを優先します。ただし、補助金申請を行うので補助対象工事の工事工程等の検討の協力をお願いします。
24	A	要求水準書	P.26 第3章 第3節 5 (2) イ	イ 耐震安全性の目標において、病院棟は構造体をⅠ類とするとあります。この目標に対しては、基礎免震構造を採用し地震応答の低減を図ることでⅠ類と同等以上の耐震安全性を確保できると考え、設計用地震動の割増し等を行う必要はないと考えてよろしいでしょうか。	大地震時においてⅠ類の耐震安全性の目標を満足できるのであれば、特別に設計用地震動の割増し等を行う必要はありませんが、レベル2での免震装置の水平変形は設計許容変形に対して余裕を持たせた設計としてください。
25	A	要求水準書	P.28 第3章 第3節 5 (3) ア	ア 準拠基準に「建築構造設計基準」の記載があります。「建築構造設計基準の資料(令和3年改定)」P.2の第2章2.3より、本計画は免震構造を採用することから、地震応答を計測する加速度計並びに計測結果を表示及び記録する装置を設置する必要があると考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	設置は不要です。

A 要求水準書関係

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
26	A 要求水準書	P.31 第3章 第3節 5 (7) ア	ア 病院棟の設計クライテリアにおいて、「長周期地震動等における繰り返し振動に対する免震装置の性状を考慮すること」とあります。本計画地（岐阜県土岐市）は、長周期地震動対策対象地域＜中京地域＞の範囲外であるため、上記の考慮は不要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	建設地周辺地盤による特性を踏まえて長周期化の影響がないと判断できる場合は、考慮不要と考えてください。
27	A 要求水準書	P.34 第3章 第3節 7 (2) イ	想定受電容量が11400 (KVA) とあります。負荷に関する諸元表を提示願えないでしょうか。ご指示下さい。	類似案件から想定しています。
28	A 要求水準書	P.34 第3章 第3節 7 (2) ウ	発電機燃料がA重油となっておりますが、72時間分の燃料消費を考慮するとタンク容量が50000L程度となります。ガスタービン発電機を変更し、ディーゼル発電機とした場合25000L程度となります。ディーゼル発電機対応品へ変更と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	要求水準書のとおり費用を見込んでください。ただし、設計段階で比較検討を行い決定するものとします。
29	A 要求水準書	P.34 第3章 第3節 7 (2) ウ	発電機設備について「ガスタービン発電機(屋内パッケージ型)」と記載していますが平面プラン図では発電機が屋上設置になっています。平面プラン図を正と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	平面図（単線プラン）を正としてください。
	A 平面図（単線プラン）	エネルギーセンター棟平面図		
30	A 要求水準書	P.35 第3章 第3節 7 (2) カ	病院電気設備（JIS T-1022）に順じ、特別非常電源が必要な諸室(カテゴリーB)は停電時にも無瞬断で電源供給が可能なよう計画するとあります。UPS容量を最小限とするため、1項目での発電機仕様変更が可能であれば、カテゴリーB以下については発電機対応（電圧確立10秒以内）で考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	要求水準書のとおり費用を見込んでください。ただし、設計段階で比較検討を行い決定するものとします。
31	A 要求水準書	P.35 第3章 第3節 7 (2) カ	情報機器、医療用情報システム（電子カルテ）に対するUPS電源は別途計画することとありますが、各機器の容量をご指示下さい。またUPS電源は別途工事と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
32	A 要求水準書	P.35 第3章 第3節 7 (2) ク	課金徴収を目的としたメーターを設置するとありますが、課金対象となる系統は厨房、レストラン、売店、保育、調剤薬局と考えます。その他必要な室がある場合、室をご指示下さい。	お見込みのとおりです。 場所・数量は決定していませんが、自動販売機用のメーター設置も必要となります。
33	A 要求水準書	P.35 第3章 第3節 7 (2) ク	エネルギー管理を目的としたメーターを部門毎などに設置とありますが、部門毎での計測は必要でしょうか。幹線、盤類を細分化する必要があり受変電設備、EPS等のスペースが広がるため、フロア毎での電力計測と考えてもよろしいでしょうか。ご指示下さい。	要求水準書のとおり費用を見込んでください。ただし、設計段階で設置位置及び方法を決定するものとします。
34	A 要求水準書	P.36 第3章 第3節 7 (2) コ	電話交換機・一般電話機・多機能電話機などの設置は本計画内としますが、回線数・電話機台数等についてご指示下さい。	本建物規模で想定し費用を見込んでください。その場合の想定した回線数、電話機台数などを明記ください。
35	A 要求水準書	P.36 第3章 第3節 7 (2) サ	情報設備について、要求水準書は「配管配線布設とアウトレットの設置」と記載していますが、工事区分表は「NW用空配管（配線ルート）の確保」となっています。工事区分表を正と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	要求水準書を正としてください。
	A 工事区分表	P.1 電気関係工事区分		

A 要求水準書関係

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
36	A 要求水準書	P.39 第3章 第3節 8 (2) ア	重要諸室（電気室、CPU室、操作室、サーバー室）の空調は二重化空調とする等、故障対策を考慮するとあります。機器構成は1台バックアップをいれる構成（N+1）と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
37	A 要求水準書	P.40 第3章 第3節 8 (2) ウ	住環温度差 $\Delta t = 8^{\circ}\text{C}$ 以上とありますが、AHUなどの機器側でのコイルが増大し、機器寸法が大きくなるため。ZEB ORIENTED 取得に問題なければ、温度差 $\Delta t = 7^{\circ}\text{C}$ で計画してよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
38	A 要求水準書	P.41 第3章 第3節 8 (2) カ	BCP対象項目の状態監視が行える計画とありますが、状態監視は受水槽残量・オイルタンク残量・LPGガスタンク残量と考えます。その他必要なものがあればご指示下さい。	お見込みのとおりです。
39	A 要求水準書	P.43 第3章 第3節 9 (2) キ	震災時に必要な医療用ガスや非常用コンセント等の災害設備について、配置される居室等が記載されていますが、各々に必要な数量をご教示下さい。また、その他緊急時の対応として、4床室を臨時に6床室に増床する計画はありますでしょうか。ご教示下さい。	参加者にて同規模病院の実績に基づき数量を設定してください。また、4床室を6床室にする計画はありません。
40	A 要求水準書	P.44 第3章 第3節 9 (2) ケ	職員食堂に設置する厨房については200～300人/日の利用を見込んだ厨房機器設置するとありますが、平面図には見当たりません。ないものと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
41	A 要求水準書	P.44 第3章 第3節 9 (2) ケ	ケ 厨房器具設備計画において、「職員食堂に設置する厨房については200～300人/日の利用を見込んだ厨房機器を設置する」とあります。3階のスタッフルウンジに設けるものと考えて良いでしょうか。ご指示下さい。なお、諸元表では、スタッフエリア（休憩室兼多目的室）に食事は提供しないとの記載あります。	諸元表を正とし、3階のスタッフルウンジに厨房は不要です。
	A 諸元表	P.34		
42	A 要求水準書	P.44 第3章 第3節 9 (2) ク	想定されるRI排水の種類と量をご教示ください。	詳細検討は設計業務にて検討してください。 RI排水に関しては一般的なRI管理区域の汚水と雑排水を想定しています。浄化槽5人槽（前置槽1m ³ 、貯留槽1,2各7m ³ 、希釈層7m ³ ）のRI排水処理を想定しています。
43	A 要求水準書	P.44 第3章 第3節 9 (2) ク	透析患者の回転数は3クール/日で想定してよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
44	A 要求水準書	P.51 第4章 第1節 11 (1)	建築基本設計業務におけるコスト管理について、基本設計時見積を提出することとありますが、基本設計完了時見積の精度については、令和4年11月14日提出する参考見積書の内、建設工事分と同等と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	様式15の建設工事部分と同等で、令和4年11月14日提出する参考見積書と比較できるようにしてください。なお、協議により一部明細を求める場合があります。
45	A 要求水準書	P.51 第4章 第1節 11 (1)	基本設計完了時に当初見積額と相違がないことを確認するためとありますが、当初見積額とあるのは令和4年11月14日提出する参考見積書と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
46	A 要求水準書	P.51,52	基本協定書第5条第1項三、第11条は、建設工事の上限契約金額についてを本プロポーザルで提出した見積額を規定していますが、要求水準の第4章第1節11、12、14条の上限価格の規定と相反しています。要求水準の規定を正と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	要求水準書、4章第1節12、14条の「上限価格」は「当初見積額」と読み替えてください。
	E 基本協定書	第5条 第11条		

A 要求水準書関係

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
47	A 要求水準書	P.52 第4章 第1節 12 (3)	実施設計業務における積算業務時の詳細内訳書の単価は、見積書の単価表に記載された単価の準用を原則として記載がありますが、この見積書の単価表とは令和4年11月14日提出する主要単価一覧表のことでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
48	A 要求水準書	P.52 第4章 第1節 12 (3)	実施設計業務における積算業務において、上限価格を超える詳細内訳書は認められないとありますが、上限価格とは令和4年11月14日提出する参考見積書の内、建設工事分と考えてますでしょうか。それとも公募要領2 (6) 契約上限額を示すのでしょうか。ご指示下さい。	令和4年11月14日提出する参考見積書の内、建設工事分です。
49	A 要求水準書	P.52 第4章 第1節 13 (2)	建設工事における増減管理及び変更契約について、変更増減工事に使用する単価は、詳細内訳書の単価を採用するとありますが、詳細内訳書とは建設請負契約時の内訳書と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
50	A 要求水準書	P.52 第4章 第1節 14 (2)	建築実施設計業務における積算業務と賃金又は物価の変動に基づく請負代金の変動に対する考え方について、実施設計時の詳細内訳提出、合意後（※上限価格を超えない範囲）、建築設計期間中の賃金又は物価変動に対する協議（上限価格から超えることを認める）が可能と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
51	A 要求水準書	P.52 第4章 第1節 14 (2)	賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変動に対する考え方において、賃金又は物価の変動分の合計額を上限価格から超えることを認めることとしますが、上限価格とは、令和4年11月14日提出する参考見積書の内、建設工事分と考えてますでしょうか。それとも公募要領2 (6) 契約上限額を示すのでしょうか。ご指示下さい。	令和4年11月14日提出する参考見積書の内、建設工事分です。
52	A 諸元表	P.2～38	巻き上げ中木の概要において 記載以外の諸室には、不要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	中木を巻き上げ中木とする諸室は、以下の諸室を想定しています。 ■水回り 各トイレ 各浴室（一般浴室、機械浴室、訓練用浴室） 各脱衣室 救急部門洗浄室 解剖室 レストラン（食品庫、調理室） 厨房エリア（食品庫、肉・魚下処理室、野菜下処理室、冷盛付室、調理室、配膳車プール、前室、牛乳・パン庫、洗浄室、洗浄後室、器具洗浄室） ■清浄度管理エリア 手術部門（受付、手術室、準備ホール、乗換ホール、器材庫、既滅菌器材保管庫、汚物処理室） 血管造影室 薬剤部門（無菌調剤室、ミキシングルーム、抗がん剤調製室） ■汚染管理エリア 核医学部門（PET-CT、RI、汚染検査室、トイレ、リカバリー室、説明室・家族室、RI管理室、待合室、更衣室、待機室、診察室、処置室、準備室、貯蔵室、廃棄物保管庫）

A 要求水準書関係

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
53	A 諸元表	P.9,10	HCU_ISOユニット設備について、ベッド数は、諸元表「(HCU)に準じる機能を備えた重症観察室」20床の想定でよろしいでしょうか。(5E③+5W③+6E③+6W⑤+7E③+7W③=20) ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
54	A 諸元表	P.11	諸元表11/39(回復期病棟)4W病棟4E病棟、4床室について「各病室にトイレを設置」とありますが、第3節建築設計に係る要求水準書1診療概要及び病床数(2)病床数の回復期E回復期の4床室備考にはトイレの記載がありません。また添付資料7_平面図(単線プラン)の4床室内にはトイレの計画がありません。 (回復期病棟)4W病棟4E病棟、4床室の病室にトイレを設置については、設置なし、と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
55	A 諸元表	P.24	諸元表24/39(リハビリ)屋外歩行訓練コースは、2階平面図のスポーツリハ屋外スペースを示すものとし、4階の歩行訓練バルコニーは、リハビリ歩行が可能なゴムチップ舗装程度と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
56	A 工事区分表	P.1 建築関係工事区分表	12 カーテン・ブラインドが本工事となっていますが、すべてのカーテン・ブラインドが含まれると考えるのでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
57	A 工事区分表	P.1 建築関係工事区分表	17 スクリーンボックスは、本工事となっていますが、スクリーン本体も取付けると考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。
58	A 工事区分表	P.2 薬剤関連	パスボックスが別途工事となっていますが、壁に埋め込みが一般的と考えますので、本工事と考えてよろしいでしょうか。 また、エアシャワーが本工事となっていますが、必要でしょうか。合わせてご指示下さい。	工事区分表に記載のとおり、パスボックス本体は別途工事ですが、SUS製三方枠を本工事で見込んでください。 エアシャワーも記載のとおり、見込んでください。ただし、設計段階で決定するものとします。
59	A 工事区分表	P.5 ME	1 透析装置のメンテナンス設備が本工事となっていますが、どのような装置となるのかご教示をお願いします。	本工事とする設備は、給水及び排水(カプラー取付まで)、電源はメンテナンス専用コンセントです。
60	A 工事区分表	P.6 中央材料室関連	パスボックスが別途工事となっていますが、質疑No58同様に壁に埋め込みが一般的と考えますので、本工事と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	工事区分表に記載のとおり、パスボックス本体は別途工事ですが、SUS製三方枠を本工事で見込んでください。
61	A 工事区分表	P.16 電話関係工事区分表	1 電話交換機・同電源装置が本工事となっていますが、別途工事と読み替えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	本工事を想定しています。
62	A 配置図		病院スタッフ数は駐車場台数から想定し600人と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	具体的なスタッフ数は未定です。
63	A 立面図・断面図		立面図について縦樋は外樋とありますが、アルミ樋バンドレス仕様程度としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。

A 要求水準書関係

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
64	A 平面図（単線プラン）	1階平面図 エネルギーセンター棟 平面図	エネルギーセンター棟のRI排水処理設備室が、病院棟のRI設備と同フロアに配置されており、排水が接続できません。また他の排水処理設備室がレイアウトされておりませんが、排水計画はどの様にお考えでしょうか。	本棟側からのポンプアップを想定しています。
65	A 平面図（単線プラン）	2階平面図	2階平面図の吹き抜けの下部に2本の横線がありますが何を示していますでしょうか。ご教示下さい。	不要な線です。

C 造成（開発）工事資料

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
66	C 【造成】図面一式	図面番号3,4-1,2	建設工事業務に関する提案にあたり、計画平面および断面図に記載された建築根切り部の形状変更は可能でしょうか。また、建設工事箇所の造成を先行して建設工事に引き渡すことは可能でしょうか。ご教示ください。	建築根切部の形状変更は可能です。根切完了後、造成工事に関する段階確認で出来形を確認し、建設工事にて埋め戻しすることを想定しています。 造成工事（開発許可）が完了していない状態で、建設工事に着手するためには、都市計画法第37条第1号の規定による承認を東濃建築事務所から受ける必要があります。東濃建築事務所と協議を行った結果、承認を受けるためには防災対策や高盛土の安定対策の観点から調整池工事、防災工事、高盛土工事（影響範囲内部）、建物付近敷地造成工事（北側法面）の完了が条件となっています。

D 建設工事資料

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
67	D 【建設】特記事項	P4 20	現場見学への協力依頼が記載されていますが、その他工事中に市民の皆様が現場にお越しになるイベント等（例えば植樹祭や新病院の内覧会など）の予定をご教示下さい。	現時点では未定です。今後の調整となります。

F 資料

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
68	F マスタースケジュール （参考）		新病院の開院が2026年2月となっています。開院に伴う資機材・備品等（本工事以外）の搬入、病院スタッフの新病院内での準備・訓練、患者様の引越し等は全て建設工事の引渡し後（2025年12月以降）に実施されるものと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	基本的には、建設工事引渡し後に実施する予定ですが、大型医療機器等で引渡し後の搬入・据付に支障がある場合は、別途協議することになります。

Z その他

質疑No.	書類・資料名	該当箇所	質疑事項	回答
69	その他		起工式（安全祈願祭）は、建設工事の着手前（造成工事完了後）に執り行われるものと思われませんが、式典にご出席される発注者様関係の想定人数（来賓、報道を含む）をご教示下さい。	起工式（安全祈願祭）は造成工事着手前、建設工事着手前それぞれで執り行う予定です。出席者は最大100人程度を想定しています。式典にかかる費用を見込んでください。
70	その他		放射線・医療機器類について高調波対策は医療機器側で見込むと考えます。こちらで見込む場合は医療機器の高調波容量がわかるリストについてご指示下さい。	高調波対策は本工事で見込んでください。ただし、設計段階で決定するものとします。医療機器は決定していないため、動力が必要な大容量の医療機器添付資料2_諸元表の諸室から想定してください。 【諸元表】 6/35 歯科機械室(バキュームポンプ、コンプレッサー) 13/35 手術室(1室、アンギオ設置) 14/35 中央材料室（オートクレーブ3台程度、洗浄機など） 15/35 内視鏡放射線透視室(3室) 16/35 放射線一般撮影室(3室) 17/35 X線透視撮影室(1室)、CT室(1室)、MRI室(2室)、乳房撮影室・骨密度測定室(1室)、アンギオエリア血管造影撮影室(3室) 18/35 PET-CT室(1室)、RI室(1室)、放射線治療エリリアニアック室(1室) 19/35 CTシュミレータ室(1室) 28/35 健診センターX線透視撮影室(1室) 29/35 乳房撮影室(1室)、骨密度測定室(1室)
71	諸元表		手術室のクリーン度について、ご指示ください。	整形外科手術室がクラス1000、その他の手術室はクラス10000としてください。
72	諸元表		検査室にCO2配管は不要でしょうか。ご指示下さい。	孵卵器用に必要です。手術室、内視鏡と同様に中央配管で検査室まで引込んでください。
73	諸元表		放射線に設置する医療機器の想定がありましたら、ご指示下さい。	後日、参考資料の交付を予定しています。